

没後二〇周年企画展

童謡詩人細川雄太郎全作品公開展

期間 令和元年九月二二日(日)～一月一七日(日)

「開催趣旨」

童謡「あの子はたあれ」や「ちんから峠」の作詞者として広く知られた細川雄太郎が、今年の二月で没後二〇年を迎えました。



昨年の秋一〇月、細川雄太郎の生家に残る段ボール一〇箱余りの遺品の寄贈を、親族が日野町へ申し出られたことから、今年の五月から八月にかけて当館で整理を続けてきました。

昭和五七(一九八二)年四月一三日の毎日新聞「歌をたずねて」の記事の中で、細川は、

この四十数年間、軍隊にいる時も、ずうっと詩を書き続けてきた。その作品が段ボールに詰め込んだまま残っているのを、ぜひ整理したい。そうすれば、また新しい発見ができるかも知れない。

と語っていますが、それが整理されないまま今日まで残ったのです。

「童謡詩人」と呼ばれた細川は、関東の日野商人の出店で一五歳の時から一〇年余りの奉公生活を戦前に経験しており、彼も異郷で過ごす近江日野商人の一人であることから、「望郷詩人」とも称されました。その奉公時代に芽生えた文学への関心が、彼の人生を方向づけ、生涯にわたってみずみずしい多くの作品を生み出しました。

今回の遺品の整理により、おびただしい枚数の原稿用紙や新聞広告の裏などに、未発表の膨大な遺作が残っていることが判明しました。今回の企画展では、それらの遺作を直接手に取っていただき、約七〇年にも及ぶ作詞活動への並々ならぬ彼の情熱を感じ取っていただければ幸いです。

近江日野商人館

〒074-8152 10007

22歳時 細川雄太郎

没後二〇周年

志願「あの子はたあれ」など、書かれた
全作品一六〇点余りを公開展示します。

童謡詩人細川雄太郎全作品公開展

令和元年九月三日(日)～一月三日(日)

日野町 日野商人出立奉公時代に書かれた遺作

近江日野商人館

〒074-8152 10007

TEL 074-8152-1000

TEL 074-8152-1001

TEL 074-8152-1002

TEL 074-8152-1003

TEL 074-8152-1004

TEL 074-8152-1005

TEL 074-8152-1006

TEL 074-8152-1007

TEL 074-8152-1008

TEL 074-8152-1009

TEL 074-8152-1010